

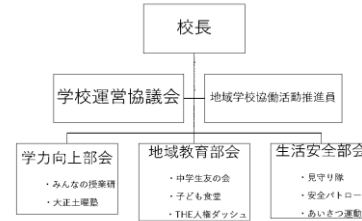
こんな活動です

# 学校・家庭・地域の3本の竹の連携、協働で子どもの学ぶ力を支え育てよう！！

奈良県御所市		●活動名 大正「学び力」育成委員会				●関係する学校名 御所市立大正中学校			
協働活動開始年度	平成 26 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	7 学級	のべ児童・生徒数	120 人		
活動区分	学校支援活動	—			—				
	地域未来塾	放課後子供教室							
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数				
	1人				4人				
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無			
	平成31年4月1日設置			52人					
参考URL	<a href="http://www5.kcn.ne.jp/~taisho-chu/">http://www5.kcn.ne.jp/~taisho-chu/</a>								
●連絡先	奈良県御所市大字三室206-1			☎ 0745-62-2508					

●体制図

学校運営組織（「学び力」育成委員会）



●活動の概要・経緯

本校は、「地域学校協働活動」事業に取り組む以前より、地域の方々の協力により人権教育に関わる様々な諸活動が行われてきた。本校区においても「格差社会」の厳しい現実を決して例外ではなく、要・準要保護家庭や母子父子家庭など生活困難の中に生きる生徒の数は年々増加傾向にある。生活面での困難さは、学校生活における様々な困難に直結し、特に「底辺」層における学力に関わる諸課題、自尊心や自己肯定感に関わる諸課題が本校教育の根底に大きく横たわっている。そこで、学校と家庭・地域が熟議を重ねながら、課題を共有するなかで、「学び力」の育成に焦点を当てた活動を提起し合った。まさに、学校と家庭・地域が当事者意識を持ち、連携・協働を進め、「地域学校協働活動」の充実深化を図ることで、諸課題解決に向けた歩みを進めてきたといえる。さらに、今年度よりコミュニティ・スクールとしての新たな一歩を踏み出すことになった。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①みんなの授業研・・・校内授業づくり委員会と連携しながら、若手教員の授業づくりを励まし、鍛える。保護者や地域の方を交え、「子ども」目線・「素人」目線を大切にしながら、特に「しんどい子」がわかる授業を目指す取組。
- ②中学生友の会（中友）・・・生徒の学習習慣の確立と学力補充を目的に、地域の施設（中央公民館等）を活用し、コーディネーターが中心となって、地域の人たちが組織し運営している活動。
- ③大正土曜塾・・・中学生友の会が夜間の開催であるため、参加できない生徒もいる。そこで、毎週土曜日に学校図書館を利用し、地域ボランティアの方にも支援いただきながら、進めている学習機会の取組。
- ④THE人権ダッシュ・・・月曜日の放課後の活動として、部落差別に関わる学習を実施。本校OB・OGや地域の方を講師として招き、体験談等を聞きながら、生徒自身の人権意識を深める活動。

【実施に当たっての工夫】

子どもたちの「学びの樹」の成長を支える「3本の竹（「学校」「家庭」「地域」）の働きを、より豊かで確かなものにしていく取組として始めた。それぞれの活動には、地域の様々な方々や諸団体に参加してもらい進めてきた経緯がある。地域の方と子どもたちが顔見知りとなり、地域に密着した取組となっている。活動に関わる方々が増加する中、「地域学校協働活動推進員」を中心に、コミュニティ・スクールとして生徒達の課題に対する積極的な連携・協働ができるよう取り組んでいる。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

中友や大正土曜塾に参加する生徒の割合が年々増加し、さらに学力向上がみられる生徒も多い。通塾率が5割に満たない本校において、様々な学習機会の創出は、生徒の学習サイクル確立に大きく影響している。また、地域の方や本校出身の先輩との関わりの中で、人権意識をより深めることができている。具体的には、差別を見抜くための「学力」、差別を乗り越えるための「仲間」、差別と闘うために必要な「自覚」の大切さを学ぶきっかけとなっている。また、地域の方のなかには、自身の余暇に使っていた時間を、この活動に関わる熟議や協働の時間に使うとする方もあらわれ、地域の人々の生きがいづくりにもつながっている。コミュニティ・スクールとして、課題も含めて学校を公開することで、委員一人一人の生徒達に接する機会が増え、当事者意識を持って生徒達の「学び力」の育成について考え、地域に対して取組への理解を広め、活動内容の深化・充実につながっている。さらに、ホームページを毎週更新し、活動の様子や生徒の姿を保護者や地域に向けて発信している。その反響も大きく、協議や熟議の土台ともなっている。

●その他

学校と家庭・地域の連携・協働を効果的に進めるため、年6回の大正「学び力」育成委員会（学校運営協議会）を開催し、関係者によるビジョンや目標の共有を行っている。また、中友スタッフと地域の方を中心としたボランティアスタッフによる月1回の子ども食堂も進めている。食事の後には、地域の方と子どもたちとの交流を設定し、絆を深める場にもなっている。



大正  
会  
子  
大  
正  
で  
の  
学  
話  
び  
力  
し  
合  
い  
の  
育  
成  
委  
員  
会



「子  
ども  
食  
堂」  
で  
の  
交  
流